

海賊に夢中?!

ここ数年、パイレーツオブ・カリビアン、ワンピースとなぜか海賊ものが人気ですが、

Club Q2で海賊をテーマにしたトークとDJパーティーを行ないます。

社会からドロップアウトして自由を獲得する、そういう海賊の姿が閉塞感に覆われた世の中で

受けているのでしょうか？研究室に海賊旗を掲げる今回の企画の中心人物、

小笠原博毅さんに海賊の面白さを語ってもらいました。



CAPTURE

小笠原博毅：神戸大学大学院国際文化学研究科准教授。イギリスのサッカー研究のためグラスゴーとロンドンで計8年間くらす。専門は文化研究。

ぼくは元々イギリスのサッカーを研究していてロンドンに住んでいました。テムズ河畔には古いバブが結構あって、そこには昔なんとか船長が来た、亡靈が出る、海賊の遺産がある、とかいうようなまことしやかなはなしも結構あって、海賊の実在性がすごく身近な町だったんです。

それともうひとつ、高校の世界史などでは、ブルジョワジーが王制や封建制を打倒し、自分たちの権利を勝ち取つて憲法と議会を設置し、新しい社会を作つたといふ定説があります。でもほんとにそんなにうまいこといったのか？そんな風に思ったとき、たまたまイギリス革命、フランス革命、アメリカ独立革命と海賊との関係を書いた『多頭のヒドラ』という本を読んだんです。その本は、市民革命の重要なポイントに水夫、船員等がいたのに、歴史からは彼らのラディカルズムが全部捨てられ、革命は陸の市民がやりとげたと書かれてしまつているけれど、海賊の旗を掲げた彼らこそが国家からの自由とか海のうえでは人は技能に応じて平等だということを言つていた。チャールズ・ジョンソンの『イギリス海賊史』にもそのことはちゃんと書かれています。悪い奴、賊な奴、処刑された奴、そういう奴らこそが近代の政治原理や社会システムを先取りしていた。そいつらを罰して植民地を拡大していくイギリスやフランスのような国が、そいつらの考えをハイジャックした、という発想が面白いと思つたのです。

自由の女神と女海賊

その一番如実な例が、7月革命を主題にしたドロクロワの「民衆を導く自由の女神」。アメリカの独立、フランス革命、そして国民国家、ヨーロッパという概念が生まれ、しかしそのまま王制が残つていて市民運動が起きたわけだけど、その100年も前に、「イギリス海賊史」のオランダ語版の挿絵に、全く同じ構図の女海賊の絵が描かれていました。ドロクロワはきっとこの挿絵を見たと思います。自由平等の原点だといわれる自由の女神の元ネタが、実は海賊にあつたんです。海賊が作った社会原理を陸のブルジョワが都合よくおき直したところですね。

Fuck the System

近年の移民等の暴動を評して、非常に海賊的だという思想家等がいます。彼らはパロウズ等に言及して海賊のユートピアを求める思考が、こういう運動に影響しているんですね。でも海賊がアーチーで自立した人間の集団だと認めるのは歴史的にみてロマンティックすぎです。船を操るというのは自由ではなく、いろいろな扱いがんじがらめになるわけで、海賊というのは陸の社会にいられなくなつた人たちにとつての唯一の生き延びる手段だつただけのことです。

この（表紙の）「Fuck the System」っていう写真はテムズ川のそばで見つけた落書きですが、これなんか「制度なんてくそくらえ！」とさつと描いて、さつと逃げる、海賊的な行動だと思うんです。海賊の最も重要なキーワードは「移動」ですね。

CAP CLUB Q2で1月21日（土）に開催されるPirates' Dialogue。文学者やアーティストにはぜひ来てもらいたいという小笠原さん。海賊が飲んだ酒、海賊が食べた料理を用意して、海のうえでお待ちしています。

CAP STUDIO

Y3



Tel 050-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8
海外移住と文化の交流センター内 Phone/Fax: 078(222)1003

CAP CLUB Q2



Tel 050-0041 神戸市中央区新港町4-3 上屋Q2
Phone/Fax: 078(959)7707 (催し物当日のみ応答)

C.A.P.は、現在CAP STUDIO Y3とCAP CLUB Q2の2カ所を拠点に、アートが社会に活きるための様々な活動を企画・実行しています。

● CAP STUDIO Y3

C.A.P.が公開制作を委嘱した様々なアーティストが各アトリエで日常的に制作活動を公開しています。

[STUDIO Y3 アトリエ・アーティスト] (2011年12月現在)

淺野夕紀、井階麻未、井ノ岡里子、倉智敬子、坂井良太、桜井頼、澤田摩耶、田岡和也、築山有城、藤川怜子、山村幸則

● CAP CLUB Q2

C.A.P.メンバーが中心となって、さまざまな人が集う実験的な催しを行っています。

C.A.P. [芸術と計画会議]

Tel 050-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター内
Phone/Fax: 078(222)1003 開館 10:00~19:00 / 月曜休館
info@cap-kobe.com • http://www.cap-kobe.com/

年末年始休館日: 2011年12月29日(木)~2012年1月3日(火)
振替休館日のお知らせ: 1月9日(月・祝)は開館、10日(火)は振替休館となります。